

未来に求められる新しい学びや、その知識体系とは

共創系学部合同 カリキュラムセミナー

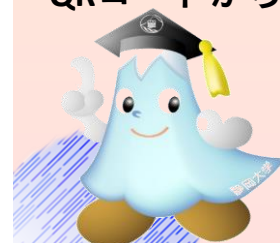
～文理融合型カリキュラムの
特徴と課題整理～

令和6年

10/11 金
10:00～12:15



お申し込みは
QRコードから



<https://forms.office.com/r/G1JrSQnMT1>

- 会場** 静岡大学静岡キャンパス 教育学部B棟218教室
※対面での開催を基本としますが、Zoomでのご参加も可能です。詳しくはQRコードより。
- 講師** 杉谷祐美子（青山学院大学教育人間科学部教授：高等教育論）
中村隆志（新潟大学創生学部学部長）
荒谷邦雄（九州大学共創学部学部長）
池田恵子（静岡大学グローバル共創科学部学部長）
- 内容** プログラムに関しては、裏面をご参照ください。
- 主な対象** 高等教育における文理融合型カリキュラムに興味・関心のある方
- 定員** 約100名（会場参加者）
- 申込方法** 掲載のQRコードにしたがってご応募ください。
お申し込み〆切：令和6年10月7日（月曜日）

お問い合わせ先

静岡大学グローバル共創科学部事務部

TEL：054-238-3712 MAIL：global-s@adb.shizuoka.ac.jp

〔主催〕 静岡大学グローバル共創科学部

〔後援〕 静岡大学未来創成本部

本セミナーの趣旨・概要

「文理融合型カリキュラムの特徴と課題整理」

現代社会の複雑な課題を解決するためには、新しい学びや知識の体系が必要とされている。その要請に応えようと、近年、日本全国で共創系学部の設立が相次いでいる。新潟大学創生学部（2017年）、九州大学共創学部（2018年）はその代表格であり、静岡大学においても2023年4月にグローバル共創科学部が新設された。各大学が特徴ある文理横断・文理融合型カリキュラムの実践を進めるなか、見えてきた課題を整理し改善を図るには、各大学が相互に学び、全学に位置付けた議論が有効である。

そこで、文理横断・文理融合型による課題解決型カリキュラムの特徴と課題を関係者で共有し、その改善策と将来的な全学カリキュラム改革への見通しを展望する。

当日のプログラム

【開会挨拶】

森田 明雄 （静岡大学企画戦略担当理事・副学長）

【シンポジウム】

趣旨説明

村田 真一 （静岡大学グローバル共創科学部学部長補佐）

話題提供

①全学および学内他部局との連携

中村 隆志 （新潟大学創生学部学部長）

②海外留学・グローバル事業の展開

荒谷 邦雄 （九州大学共創学部学部長）

③「共創型人材の育成」1年目の課題と成果

池田 恵子 （静岡大学グローバル共創科学部学部長）

パネルディスカッションおよびフロアとの意見交換

コーディネーター：杉谷 祐美子 （青山学院大学教育人間科学部教授）

総括

【閉会挨拶】

江口 昌克 （静岡大学グローバル共創科学部副学部長）